

令和2年 1月 薬事委員会結果報告

1. 新規採用医薬品(1品目)

No	医薬品名	区分	一般名	製薬会社	規格	薬価	薬効分類	備考
1	サムスカOD錠7.5mg	先	トルバプタン	大塚	7.5mg 1錠	¥1,298.50	V2-受容体拮抗剤	サムスカ錠7.5mg(¥1298.50)より切替え

2. 新規院外採用医薬品(2品目)

No	医薬品名	区分	一般名	製薬会社	規格	薬価	薬効分類	備考
1	ミカトリオ配合錠	先	テルミサルタン/アムロジピン /ヒドロクロチアジド	日本 ペーリンガー	1錠	¥154.40	胆汁排泄持続性AT1受容体ブロッカー /持続性Ca拮抗薬/利尿剤合剤	
2	サルブタモール2mg「日医工」	後	サルブタモール	日医工	2mg1錠	¥5.50	気管支拡張剤	ベネトリン錠2mg(販売中止)より切替え

3. 販売中止(経過措置品目)医薬品について(5品目)

No	販売中止医薬品	区分	経過措置 満了日	一般名	薬効分類	代替医薬品	備考
1	ベネトリン錠2mg	先	2021.3	サルブタモール	気管支拡張剤	サルブタモール2mg「日医工」	
2	カリクレイン錠10単位	—	2020.3	カリジノゲナーゼ	循環系作用酵素製剤	カルナクリンカプセル25 カルナクリン錠25・50	
3	バイミカード錠錠10mg	先		ニソルジピン	持続性Ca拮抗剤 (第二世代)	他のCa拮抗剤 多数あり	
4	ガストロゼピン錠25mg	先		ピレンゼピン	胃炎・消化性潰瘍治療剤	他の胃炎・消化性潰瘍治療剤 多数あり	
5	ハイシップスプレー100mL	—		サリチル酸メチル・ ジフェンヒドラミン	経皮鎮痛消炎剤	—	代替薬不要

先:後発品が存在する先発医薬品

4. 一時供給停止の院外採用医薬品(2品目)

No	供給停止医薬品	区分	会社名	一般名	薬効分類	代替医薬品	備考
1	ネリプロクト軟膏2g	先	LTL ファーマ	ジフルコルトロン吉草酸 エステル・リドカイン	痔疾用剤	プロクトセディル軟膏・ ボラザG軟膏・強力ポステリザン軟膏	
2	ネリプロクト坐剤					プロクトセディル坐薬・ ボラザG坐薬・ポステリザンF坐薬	

5. 医薬品情報室より

重要な添付文書改訂について: DSU(医薬品安全対策情報) No.284~285(2019.11~12)

医薬品一般名	ボノプラザンフマル酸塩	232 消化性潰瘍用剤
--------	-------------	-------------

改訂箇所	改定内容
[重大な副作用] 追記	汎血球減少、無顆粒球症、白血球減少、血小板減少があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。

採用医薬品:タケキャブ錠

医薬品一般名	ボノプラザンフマル酸塩・アモキシシリン水和物・クラリスロマイシン	232 消化性潰瘍用剤
改訂箇所	改定内容	
[重大な副作用] 追記	(ボノプラザンフマル酸塩) 汎血球減少、無顆粒球症、白血球減少、血小板減少があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。	

採用医薬品:ボノサップパック

医薬品一般名	ボノプラザンフマル酸塩・アモキシシリン水和物・メロニダゾール	232 消化性潰瘍用剤
改訂箇所	改定内容	
[重大な副作用] 追記	(ボノプラザンフマル酸塩) 汎血球減少、無顆粒球症、白血球減少、血小板減少があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。	

<院外>採用医薬品:ボノピオンパック

医薬品一般名	エンザルタミド	429その他の腫瘍用薬
改訂箇所	改定内容	
「慎重投与」 追記	間質性肺疾患のある患者又はその既往歴のある患者	
「重要な基本的注意」 追記	間質性肺疾患があらわれることがあるので、本剤の投与にあたっては、初期症状(息切れ、呼吸困難、咳嗽、発熱等)の確認及び胸部X線検査の実施等、患者の状態を十分に観察すること。また、患者に副作用について説明するとともに、間質性肺疾患の初期症状が発現した場合には、速やかに医療機関を受診するよう説明すること。	
「重大な副作用」 追記	間質性肺疾患: 間質性肺疾患があらわれることがあるので、患者の状態を十分に観察し、異常が認められた場合には、本剤の投与を中止し、必要に応じて、胸部CT、血清マーカー等の検査を実施するとともに、適切な処置を行うこと	

<院外>採用医薬品:イクスタンジカプセル